

| | | | |
|------------------|--|--------------|--------|
| 授業科目名 (英文名) | 理科指導法 (Teaching method of Science I) | 科目区分 対象学生 | |
| 単位数 | 2.00 | 開講年次・ 学期 | 3年次・前期 |
| 担当教員 | 工 義尚 | 所属 | 非常勤講師 |
| オフィス・場所 | | 連絡先 | |
| 講義目的及び到達目標 | 中・高等学校の理科のうち、生物分野の授業を展開することを前提に、その考え方や指導案の作り方、教材の効果的な活用などの体験を通して、理科嫌いの生徒を作らない指導法を修得する。 | | |
| 講義内容・授業計画 | <p>講義内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理科教育のあり方、理科教員の心構え。 2. 教科内容の基礎・基本を理解し、それを指導するための心構え。 3. 身近な自然や生物の観察および実験開発に臨む態度について。 4. 理科指導案の作成にかかわる姿勢と評価について。 5. 生徒にとって理解しやすく興味を持たせる授業の展開について。 <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1回：オリエンテーション、身近な生物の観察・実習 第2回：教育課程の理科分野、自然・環境認識 第3回：教育課程の生物分野 第4回：屋外授業（学内） 第5回：環境教育、学習評価、模擬授業準備 第6回：指導案作りの工夫と実際 第7回：グループ内での発表、授業改善の視点 第8回：野外実習（学外施設、講義2回分） 第9回： ” 第10回：グループ代表aの発表、授業改善の工夫 第11回：生物分野基礎実験（指導者の視点で） 第12回：グループ内で発表、授業改善の視点 第13回：グループ代表bの発表、授業改善の工夫 第14回：グループ代表cの発表、授業改善の工夫 第15回：授業改善の動向、指導案作りの工夫と実際 | | |
| テキスト | <p>「生物基礎」 啓林館 「高等学校学習指導要領解説 理科編・理数編」 文部科学省 （いずれも大学生協で販売）</p> | | |
| 参考文献 | <p>「生物」 啓林館 「中学校学習指導要領解説 理科編」 文部科学省</p> | | |
| 成績評価の基準・方法 | 授業（実習・実験）レポート・継続観察レポート・指導案・確認テスト | | |
| 履修上の注意・履修要件 | <p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業</p> <p>・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p> | | |
| 実践的教育 | 高等学校の現場で理科教員として指導経験および40年間以上の自然観察会の経験がある教員が、いかに理科に興味を持たせ、魅力のある授業展開や、どのようにフィールドワークを導入するのかを講義する。 | | |
| 備考 | | | |